

第2号

新風会だより

発行:平成20年4月

磯崎陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

電話 097(535)8260

<http://www17.ocn.ne.jp/isozaki/>

ヨウスケが行く

参議院議員 磯崎陽輔



皆さん、こんにちは。参議院議員の磯崎陽輔です。

国会議員になって半年以上が立ち、東京での政治活動もようやく軌道に乗ってきたところです。国会では、既に8回質問に立ちました。もっともっと質問したいのですが、野党の審議拒否が続いて、思うに任せません。地方財政や放送関係などの専門分野での質問を総務委員会で行ったほか、少子高齢化・共生社会調査会で外国人との共生について質問に立ち、先日は、議院運営委員会で日銀総裁候補に対する質疑を行いました。

一方、党内では、まだ大したポストではありませんが、役職が急速に増え、大忙しになってきました。道州制推進本部事務局次長や党改革実施本部委員のほか、消費者問題調査会、振り込め詐欺対策 WT など幹事を務め、さらに漂流ごみ対策特別委員会のお世話もすることとなりました。このほか、農林水産業や福祉関係の会議には必ず出席していますし、地方財政、消防、国防・安全保障、医療・救急、選挙制度、公務員改革などなど可能な限りの会議に参加して意見を述べています。

選挙区選出議員ですから、何でも挑戦していかなければなりません。「自民党を変えよう。」「地方に陽のあたる政治」の公約を決して忘れることなく、活動しています。

ただ、大変なのは国会情勢です。参議院選挙に負

け、少数与党になったわけですから、大変なのは覚悟していましたが、本当にひどい状況になってきました。野党は、ただただ国会を混乱させ、国政を混乱させ、そして福田総理に衆議院の解散を迫ろうとしています。政策論のような顔をしながら、実は政局へ向けて反対攻勢を強めるばかりなのです。なかなかテレビや新聞が報じてくれませんが、野党は、参議院で、予算委員会を1週間半空転させただけでなく、他の委員会でも実質的な審議拒否を続けています。

何せ参議院では、本会議や委員会の招集権が与党にはないものですから、私たちがいくらがんばっても、らちが開かないのです。今日できることは明日に延ばし、明日できることは明後日に延ばし、明後日できることは来週に延ばして、時間切れで国政を混乱させようとするのが、野党の常とう手段です。

愚痴を言っても仕方ありませんが、選挙に負けるとは、こういうことなのです。政争で迷惑を被るのは、結局国民です。国民本位の政治のためには、ねじれ国会における与野党の話し合いのルールを作っていかなければなりません。でも、なかなかそれに応じてくれないのです。最終的には、総選挙を行わないと安定した体制はできないと考えますが、それまでは、新しい政治の在り方を求めて試行錯誤を続けていかなければなりません。今は、新しい政治の産みの苦しみの時期だと考えて、我慢して努力してまいります。

毎朝8時から深夜まで活動を続けています。週末には、毎週地元に戻って皆さんの下に出掛けています。大分県は広いものですから、すぐには全域を回れませんが、各種のイベントやミニ集会を通じて、私の考えをお伝えし、皆さんの御意見を伺っています。大分県で皆さんの声を弾として込め、それを東京で打ち上げるのが、私の仕事です。まだまだ駆け出しです。皆さんの御支援と御指導が頼りであります。どうぞ、引き続き、よろしく願い申し上げます。

再開放…笑顔戻った体育館

大分市 下川 修三

わが磯崎陽輔議員が、閉鎖されていた郵便局体育館の地元利用再開問題を解決に導いたことが、住民などに感謝され、存在感を示したことを御紹介します。

昨年12月、大分市鶴崎で開かれた自民党川添校区支部の研修会・総会の席。あいさつに立った県議の渕健児さんが、県議選や参議院選の支援に感謝の言葉を述べる一方、議員の活動ぶりにも触れました。「磯崎さんは、就任早々からがんばっています。地元のことに熱心に取り組んでおられ、先日は、大分東郵便局の体育館利用再開への道筋をつけていただきました」と報告。大分東局（大分市森）は、川添地区にとっても地元の局。体育館問題には、多くの人に関心を持つだけに、期せずして拍手がわき、「ほう。早速やってくれたか」との声も聞かれました。

郵政民営化に際しては、集配業務など、過疎地や周辺部のサービス低下につながるとの論議が交わされましたが、体育館閉鎖についても、地元では「民営化のしわ寄せ」と見る向きもありました。この問題の経緯は、次のようでした。

同郵便局は、平成12年10月に開局した、東九州最大級の局。敷地は、大東中学校校舎跡で、中学移転後は、県道を挟んだ北側のグラウンドとともに運動公園として利用されていました。

そこに平成9年、当時の郵政省から市に土地譲渡の申し入れ。鶴崎にあった大分東局を、ここに移転するためです。市教委は、同地が運動公園だったこともあり、

「局舎に体育館を設置し、地域に開放する」ことを譲渡の条件に、郵政省と確認書を交わし、約束どおり体育館を併設した立派な局舎が完成しました。

ところが、局側は、経費節減や防犯対策などを理由に平成18年9月から、午後10時までだった開放時間を午後7時半までに短縮し、土・日・祝日の利用を制限し、平成19年10月の民営化後は、閉鎖に至りました。体育館で卓球やバレーボールなどに親しんでいた地域の皆さんはがっかり。「郵便局は一方的」と、不満の声があがっていました。そこへ「登場」したのが議員。

参院総務委員会で、郵政民営化に関して質問した議員は、西川善文日本郵政社長に対し「地方の人たちは、集配局の再編で不便になっている。もっと住民の目線に立った経営が必要。民営化が決まった途端、郵便局が地域に開放していた体育館の使用制限をするなどは、もってのほか」と苦言を呈しました。これが使用制限・閉鎖措置撤回の決め手になり、2月25日から再び開放、約300人の利用者で活気に満ちています。ともあれ、議員の働きで解決したことは、本当によかったと思います。言うまでもなく「住民の目線」こそが政治の原点。地方に暮らす住民は、財政難にあえぐ地方自治体の再生、立ち後れている道路など社会資本整備や医療、農業、中小企業対策などを政治に強く求めています。議員は地方経営のエキスパート。「地方発」の視点で、その力量を大いに発揮し、一層存在感を高めてもらいたいと思います。

国会豆知識

vol.2

■衆議院の優越

国会は衆議院と参議院の二院で構成されており、法律や予算は、原則として両院で可決されなければ成立しませんが、いくつかの例外が憲法に規定されています。

① 法律及び条約

衆議院が可決した法律案又は条約の承認が、参議院で否決し、又は60日以内に議決しないときは、衆議院で3分の2以上の多数で再可決したときは、成立する。

② 予算

衆議院で可決後、参議院で否決し、両院協議会を開いても成案を得ないとき、又は30日以内に議決しないときは、衆議院の議決による。

③ 内閣総理大臣の指名

衆議院と参議院が異なった議決をし、両院協議会を開いても成案を得ないとき、又は参議院で10日以内に議決しないときは、衆議院の議決による。

法律と予算では、参議院における議決猶予期間が異なっているのが、ねじれ国会の混乱の大きな原因となっています。

対談

第2回 「農業」

大分市高田地区 池永勝己
参議院議員 磯崎陽輔



ハウスで池永さんと（左は池永さんのお父さんの二三生さん）

「今日は、池永さんが、農業を通じて日ごろ感じていることを色々とお聞かせください。」

（池永） 3年前に、農園を有限会社化し、「輪中の郷池永農園」と名付けました。輪中は川に囲まれている高田地区を意味し、さとを「里」ではなく「郷」と表記することで、高田地区全体を表現したつもりです。会社名に「輪中」を用いることは、私の学生時代からの夢であり、父の夢でもありました。

高田地区の野菜だと消費者の方にすぐに分かってもらえるように、「輪中の郷池永農園」の名前が入った袋につめて、直販をしています。また、「地産地消」をアピールできるインパクトのある物と思い、オランダ原産の「カンパリトマト」を栽培しています。

（磯崎） カンパリトマトのほかに池永さんはどのような作物を手掛けていますか。

（池永） 桃太郎トマト、キュウリ、夏場は小松菜を栽培していますが、ハウス栽培のほかに、8ヘクタールの水田を持っています。農家の高齢化で、田んぼを耕せない家が多くなり、「何とか代わりに引き受けてはもらえないだろうか」と頼まれ、この4～5年のうちに現在の規模になりました。しかし、やはり一人の力には限界があるので、私たち世代が集まって「別組織」を作り、田んぼを荒廃地にしないよう請負をするシステムを作れないかと考えているところです。

（磯崎） ハウスと稲作を兼業する上で問題点はありますか。

（池永） 兼業だと、ハウス栽培には補助がついても、水田には補助がつかないという制約もあり、経営は決して楽ではありません。輪中である高田は水害が非常に多い地区ですが、水田には1町歩当たり100トンの保水力があります。ですから、高田地区の環境保全のためにも何とかがんばって地域で水田を守りたいのです。

（磯崎） 高田地区の水田は、単に食糧提供だけでなく、水害から地域を守るという特別な目的があり、そういった地域の特性を理解した上での行政の対応が必要ですね。

（池永） 農業機械の購入も農家にとっては深刻な問題の一つです。効率を上げるために機械を購入したくても、高額で手が出ない、購入するとしてもペイできないという状況です。何か良い方法はないものかと思います。

（磯崎） 平成20年度から、機械のリース代についても補助金が出るようになります。私は、高額な機械は、個々の農家が購入するのではなく、どこかで一括してリースし、農家は一時的な賃料を支払うというシステムを実現したいと考えています。そうすれば、農家の負担は軽減されると思います。

（池永） 最近は道の駅など、産地直送の商品を取り扱うところも増えてきましたが、私も栽培した物は直販しています。行政は作物をブランド化して売ってほしいという意向のようですが、農家にとっては直販の方が単価が良いというのが現実です。

（磯崎） 市場を通すことのメリット・デメリットはそれぞれありますが、日本の流通システムが複雑なことは問題です。もっと単純化し、良いものを早く消費者に届けるよう改善されなければなりません。

（池永） 一般の方に、もっと農業に対して理解していただけたらと思います。環境が変わり、都会化された生活の中では、耕作用機械の音や泥が迷惑がられることも多いんです。

（磯崎） 私が子供のころは、家の回りに田んぼが広がり、農業はごく身近なものとして感じられていたのですが、コミュニティーの変化の影響でしょうね。先日中国の冷凍餃子の事件で、食の安全性が再びクローズアップされました。国内産の良さを再認識し、多少高くても安全な物を購入しようという意識が高まっているように感じます。輸入に頼りすぎている日本の食糧事情を見直すと同時に、農業への関心を持ってもらう良いきっかけになってくれたらと思います。

（池永） 農業をやっている、後継者問題は深刻です。農家にとって、経営面で魅力的な条件を提示できなければ、若い世代は農業をしようとは思いません。行政と私たち農家との考え方には、時として温度差を感じる場合があります。私たち農家の現状を知っていただくためにも、今日のような話し合いの場を今後も開いていただけたらと思います。

新風会ひろば

ホームページで、活動記録を御覧いただけます。
<http://www17.ocn.ne.jp/~isozaki/>



風船バレー参加者の皆さんと



陳情をお伺いしているところ



園遊会で福田首相と



自民党消防議連の法被を着て日田市長と



杵築市のミカンハウスで



大野竹田道路着工式で鉄入れ



前津江町国政報告会



自宅で獅子舞の子供たちと



礒崎陽輔新風会御入会のお願い

礒崎陽輔新風会では、会員を募集しています。礒崎陽輔の活動を応援して下さる方、是非御入会をお願いします。

入会のお申込みは、礒崎陽輔新風会まで御連絡ください。(TEL 097-535-8260)
ホームページからもお申込みいただけます。年会費は、1,000円です。下記の口座まで、お振り込みください。

■口座番号／郵便振替 01730-4- 118483 加入者名／礒崎陽輔新風会